㈱1　セグメントの区分方法

セグメントは、学内の管理区分等に従い、業務等の類似性を考慮して区分している。

㈱2　セグメント区分の変更

従来、セグメント情報については、「大学」及び「附属病院」で区分していたが、詳細なセグメントに係る財務情報を開示する目的から、当事業年度より、従来の「大学」に関し、新たに「大学」と「附属学校」に区分し表示している。

当事業年度において、従来のセグメント区分によった場合のセグメント情報は次のとおりである。　（単位：千円）

区分	大学	附属病院	小計	法人共通	合計
業務費用	17,602,715	14,159,730	31,762,445	—	31,762,445
業務収益	17,573,391	14,425,617	31,999,009	—	31,999,009
業務損益	△ 29,324	265,887	236,563	—	236,563
帰属資産	65,280,475	20,490,834	85,771,309	7,558,918	93,330,228

㈱3　法人共通の欄に記載した運営費交付金収益は、附属病院セグメントに箇所付けられた運営費交付金及び特殊要因経費・特別教育研究経費に係る運営費交付金以外のものである。

（運営費交付金収益の計上方法の変更）

従来、附属病院セグメントに箇所付けられた運営費交付金及び特殊要因経費・特別教育研究経費に係る運営費交付金以外の運営費交付金収益については、大学セグメントに計上していたが、大学セグメントの区分を変更したこと及び運営費交付金を授業料と区分せず一括して予算管理していることを勘案し、当事業年度より、法人共通に計上している。

この変更により、大学セグメント及び附属学校セグメントにおける運営費交付金収益は、合計8,180,453千円減少し、法人共通は同額増加している。

㈱4　法人共通の欄に記載した資産は、長期性預金、現金及び預金である。

㈱5　目的積立金の取崩を財源とする費用　（単位：千円）

区分	大学	附属学校	附属病院	計
目的積立金を財源とする費用	150,936	19,051	8,671	178,659

㈱6　損益外減価償却相当額、引当外退職給付増加見積額及び引当外賞与増加見積額　（単位：千円）

区分	大学	附属学校	附属病院	計
損益外減価償却相当額	1,285,561	68,181	32,675	1,386,418
引当外退職給付増加見積額	△ 38,439	53,716	149	15,426
引当外賞与増加見積額	△ 59,879	△ 23,243	△ 5,038	△ 88,161

㈱7　附属病院における業務損益のうち

・附属病院に関する借入金の元金償還額（699,568千円）から借入金により取得した資産の減価償却費（606,937千円）を差し引いた差額　92,630千円

・資産見返物品受贈額戻入　31,785千円

㈱8　附属病院セグメントにおける運営費交付金収益は、附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金を収益化した場合の相当額と616,270千円差額があるが、これは前事業年度より繰越して実施した業務達成基準適用事業及び費用進行基準適用事業により収益化したもの（451,410千円）並びに附属病院セグメントに人件費に関し勤務実績等により帰属の補正を行ったことによるもの（164,859千円）である。

附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金1,662,350千円については、当事業年度に全て収益化している。